

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005001	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは現代人および現代社会が抱える心的問題について多面的論点から理解を深め、自分の意見を伝えるライティング力の養成とリスニング力の養成を行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは大意をとる練習をします。関連情報を参考に、視野をひろげ、自身の考えを伝えられるようライティングの訓練をします。		
授業内容 / Class outline / Con	最初に、Lessonで重要となる単語の確認を行います。次に、リーディングで登場した単語の応用問題および内容確認問題に触れ、理解度の確認をします。さらに、Lesson内容に関連する会話表現を聞き、リスニング力の強化を図ります。		
キーワード / Key word	Psychology		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	PRACTICAL PSYCHOLOGY 南雲堂 1,800円 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英字新聞に目を通したり、テレビの音声を英語音声、英語字幕に切り替えると英語の力がさらにつくと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Lesson 1 Never Fail: Achieving Your Goals		
第3回	Lesson 2 FYI: Cyberpsychology		
第4回	Lesson 3 Kick It! Addictions Old and New		
第5回	3 step 小テスト Lesson 4 Mind over Matters: Boosting Brain Power		
第6回	Lesson 5 The Artist in You: Fostering Creativity		
第7回	Lesson 6 Don't Worry! Handling Stress and Anxiety		
第8回	Lesson 7 Best Behavior: A Better, Nicer You		
第9回	Lesson 8 About Face: Appearance and Personality		
第10回	Lesson 9 Mars or Venus? Gender and Mental Health		

第11回	3 step 小テスト Lesson 10 Good Job! Practical Psychology at Work
第12回	Lesson 11 True or False? Spotting Liars
第13回	Lesson 12 What a Jerk! Dealing with Difficult People
第14回	Lesson 13 So Sad: Depression in Japan
第15回	Lesson 14 Color Blind: Overcoming Prejudice
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005002	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了直後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高度な医学分野に偏らず、一般的に新聞などで見受けられるような「健康」・「医療」に触れた内容で、できるだけ他分野に亘るトピックとなっている。健康の意味、健全さの維持・増進のためにできること他分野に亘って考えられることを通じ英語力の向上につなげたい。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回一つずつUnitを進む。Dialog Vocabulary Reading Comprehension Quiz Rearrange the words to make sentences Writing の流れで行う。Unitを3つ進む毎に小テスト(単語テストを含む)を実施する。		
キーワード/Key word	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	A Health Mind, A Healthy Body (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間試験20%、定期試験20%、小テスト10%、課外学習のe-learning40%(3 Step CALL30%、Power Words10%)、授業への姿勢(発言、質問など)10%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・復習をきちんと行うこと。簡単であると思われることも確認を怠らないこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 / 4/12	Orientation & Quiz : これからの学習の準備		
第2回 / 4/19	Unit 1 General ideas of health: What is health? Four different aspects		
第3回 / 4/26	Unit 2 Cosmetic surgery: Reconstructing lives: A journey from chaos to calm		
第4回 / 5/10	Unit 3 PISD: Mental health disaster relief not always clear cut		
第5回 / 5/24	Unit 4 Foreign health professionals: Japan needs more nurses and care-workers 3 Step教材の小テスト(1)		
第6回 / 5/31	Unit 5 Yoga: Yoga's spiritual balance may boost health		
第7回 / 6/7	Unit 6 Food/Diet: Do you count calories?		
第8回 / 6/14	前半のまとめ(筆記試験を含む)		
第9回 / 6/21	Unit 7 Cancer: Clinical oncology: Global cancer rates expected to soar by 2030		
第10回 / 6/28	Unit 8 Smoking: It's never too late to quit smoking 3 Step教材の小テスト(2)		

第11回 / 7/5	Unit 9 Diabetes: Overcoming diabetes with diet and exercises
第12回 / 7/12	Unit 10 Obesity/Child care: Body mass index may not reflect child obesity
第13回 / 7/19	Unit 11 iPS cells: The future of regenerative medicine and iPS cells
第14回 / 7/26	Unit 12 Nurses' working conditions Need a nurse? You may have to wait
第15回 / 8/2	後半のまとめ (定期試験を含む)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005003	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M3) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部(2M3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、学習状況(理解度、進捗)に応じて、シラバスの内容を変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 40%・課題20%・期末試験40%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題20%・期末試験40%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1		
3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2		
4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3		
5回	3STEP小テスト(第1回)、アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1		
6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2		
7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3		
8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック		
9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1		
10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2		

11回	3STEP小テスト（第2回）、アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアの整理・理解3
12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
15回	授業全体のまとめ、フィードバック
16回	学期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005004	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M4) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語コミュニケーション能力のうち、特にリスニング力とスピーキング力の向上を目指す授業です。		
授業到達目標 / Goal	(1) 日常レベルの会話、およびナレーションを、ややゆっくりとしたスピードであれば8割以上理解できるようになる。 (2) そのために必要な基礎的な語彙力、音、意味、語法のすべてにおいて自由に使えるようになる。 (3) リスニングを通して身につけた表現を、実際にスピーキングで使えるようになる。 以上を目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	DVD教材を使って、リスニングとスピーキングの練習をおこないます。スピーキングについては、基本的にペアワークを中心とします。		
授業内容 / Class outline / Con	日本で働いている様々な国籍・業種の人への英語インタビュー映像を収録したDVDを用いて、ビデオ視聴アクティビティを中心に授業をおこないます。		
キーワード / Key word	英語インタビュー、ペアワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Alice Gordenker & John Rucynski, "Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals" (Cengage Learning) *2,400 yen + tax		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3step CALL system: 30% (小テスト2回、学習時間15時間)</li> <li>・Power Words: 10% (ユニット1~50)</li> <li>・授業ごとの予習・復習テスト: 30%</li> <li>・定期試験: 30%</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Requirements	特にありません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	事前の予習として、DVDの英語インタビューを字幕なしで少なくとも2回、字幕付きで少なくとも1回は視聴しておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
#1 April 11	Orientation Unit 1: Sales Can Be like Acting (Pages 12-17)		
#2 April 18	Unit 1: Sales Can Be like Acting (Pages 12-17)		
#3 April 25	Unit 2: Travel Opens Up the World (Pages 18-23)		
#4 May 2	Unit 3: Love Sells Cars (Pages 24-29)		
#5 May 9	Unit 4: Translating Is More than Words (Pages 30-35)		

#6 May 16	3step小テスト1回目 Unit 5: Serve Up the Best Possible Service (Pages 36-41)
#7 May 23	Unit 6: Toast Your Success! (Pages 42-47) * May 27 (Fri.) PowerWords1回目締切
#8 May 30	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best (Pages 48-53)
#9 June 6	Unit 8: Build a Happy Life! (Pages 54-59)
#10 June 13	Unit 9: Life Is like Riding a Bicycle (Pages 60-65)
#11 June 20	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change (Pages 66-71)
#12 June 27	3step小テスト2回目 Unit 11: Connect Workers with Companies (Pages 72-77)
#13 July 4	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention (Pages 78-83)
#14 July 11	Unit 13: What's the Recipe for Success? (Pages 84-89) * July 15 (Fri.) PowerWords2回目締切、3step学習時間締切
#15 July 25	Unit 14: Help Animals for a Better Society (Pages 90-95)
#16 Aug 1	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005005	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M5) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代 / Mituno Momoyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語を使った思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信を持つことを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容 / Class outline / Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観し、英語の表現形式を確認しながら授業を進めます。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード / Key word	コミュニケーション能力の向上。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Thinking in English: Language Skills and Information Mapping for Clear Communication Cengage 1700 yen およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E - Learning (40%: 3step 30% and Power Words 10%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 (11 April)	Introduction		
2 (18 April)	Unit 1		
3 (25 April)	Unit1		
4 (2 May)	Unit 2		
5 (9 May)	Unit 2		
6 (16 May)	Unit3 3step short test		
7 (23 May)	Unit3		
8 (30 May)	Unit 4		

9 (6 June)	Unit4
10 (13 June)	Unit5
11 (20 June)	Unit5
12 (27 June)	Unit5 3 step short test
13 (4 July)	Unit6
14 (11 July)	Unit 6
15 (25 July)	Review
16 (1 August)	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005006	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M6) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	英米の歌にみられる英語表現を中心として、重要な英文について、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言うように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌とその背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。		
キーワード/Key word	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。		
授業計画詳細/Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月11日	導入・授業内容の説明
第2回 4月18日	UNIT 4 Puff ( The Magic Dragon )
第3回 4月25日	UNIT 5 Unchained Melody
第4回 5月 2日	UNIT 6 Over the Rainbow
第5回 5月 9日	UNIT 8 Tennessee Waltz
第6回 5月16日	UNIT 10 Dreaming of Home and Mother 3 Step Call System 小テスト 第1回目
第7回 5月23日	UNIT 11 Long, Long Ago
第8回 5月30日	UNIT 12 Grandfather's Clock
第9回 6月 6日	UNIT 13 The Last Rose of Summer
第10回 6月13日	UNIT 15・16 Mollie Darling / I've Been Working on the Railroad
第11回 6月20日	UNIT 17・18 Foster's Songs ( Old Black Joe / Old Folks at Home )
第12回 6月27日	UNIT 14 Home on the Range 3 Step Call System 小テスト 第2回目
第13回 7月 4日	UNIT 18・19 ( ・20 ) Foster's Songs ( Old Folks at Home / My Old Kentucky Home / Beautiful Dreamer ) ( UNIT 3 Amazing Grace )
第14回 7月11日	UNIT 25・26 Twin Songs ( Londonderry Air / Danny Boy )
第15回 7月25日	UNIT 26 ( ・27 ) Danny Boy ( / Aloha Oe )
第16回 8月 1日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005007	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ルヴィエール / Dani- Ruvuiera		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ルヴィエール / Dani- Ruvuiera		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ルヴィエール / Dani- Ruvuiera		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	2K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	dannyj13@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-881-0858		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Friday 4:00-4:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	This is an interactive class with student participation critical to the success of the course. Students will be presented with various topics in everyday life and work through various listening, writing and speaking activities.		
授業到達目標/Goal	The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation. Also, we'll focus on the art of conversation.		
授業方法(学習指導法)/Method	During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class. Students will additional e-learning assignments to do outside of class.		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Adventures in English V4		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning40%(Power Words 10%, 3step CALL System 30%) attendance / class participation 30%, final exam 30%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	This class will have a very casual atmosphere and hopefully a very enjoyable learning experience for all of you. Let's enjoy English!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Partner interviews and introductions. Class outline.		
2回	Unit 1 Meeting strangers / World quiz		
3回	Unit 2 Work life / Your skills		
4回	Unit 3 Describing your city and getting around town		
5回	3step mini-test 1		
6回	Unit 4 A visti to New Orleans (video) / Natural disasters		
7回	Unit 5 Favorite artists/groups / Extreme words and expand pronunciation		
8回	Unit 6 Blockbusters / Movie survey / Meeting famous people		

9回	Unit 7 Student life / Special nicknames / A great weekend
10回	Unit 8 Food around the world / Eating out
11回	3step mini-test 2
12回	Unit 9 Big sales / Let ' s go to the mall
13回	Unit10 Descriptions and characteristics of people / Your love life
14回	Unit 11 Holidays, special days and festivals in Japan
15回	Unit 12 Your life in 2036 / Predicting the future
16回	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005008	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2K2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控入室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後10分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業到達目標/Goal	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業方法(学習指導法)/Method	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(表現を覚えるなど)と会話練習を行う。後半では日常会話文を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあったり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	Speaking		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E-Learning(リスニング小テストを含む) 40 % スピーチ5回 50 % (1-4回: 8点×4、5回目18点) 課題提出・授業中の活動 10 % (提出課題は期限厳守のこと)		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family(会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)		
第2回	Skit 3-6: Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)		
第3回	JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について		

第4回	<自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1:自己紹介(一班)
第5回	3-Step小テスト(1) スピーチ1:自己紹介(二班) Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)
第6回	Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。 自分の週末などについて書く(宿題)
第7回	会話練習、スピーチ練習, Skit 10
第8回	スピーチ2: 週末について等(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)
第9回	Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。 怪我、失敗談やそこから学んだこと、困ったことやその解決談、などについて書く(宿題)
第10回	スピーチ3: 怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)
第11回	3-Step小テスト(2)、Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。 パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)
第12回	Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。 Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)
第13回	スピーチ4: パーティー、イベント、楽しい話など(1分以上、全員) 春休みの計画、将来の計画などについて書く(宿題)
第14回	<スピーチ5の原稿(パソコンうち)提出> スピーチ練習
第15回	一班: スピーチ5: 春休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 二班: スピーチ観賞
第16回	二班: スピーチ5: 春休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 一班: スピーチ観賞

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005009	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K3) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語コミュニケーション能力のうち、特にリスニング力とスピーキング力の向上を目指す授業です。		
授業到達目標 / Goal	<p>(1) 日常レベルの会話、およびナレーションを、ややゆっくりとしたスピードであれば8割以上理解できるようになる。</p> <p>(2) そのために必要な基礎的な語彙力、音、意味、語法のすべてにおいて自由に使えるようになる。</p> <p>(3) リスニングを通して身につけた表現を、実際にスピーキングで使えるようになる。特に、長崎に来る外国人観光客に対して、英語で基本的な対応ができるようになる。</p> <p>以上を目標とします。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	音声教材を使って、リスニングとスピーキングの練習をおこないます。スピーキングについては、基本的にペアワークを中心とします。		
授業内容 / Class outline / Con	商業施設での接客対応や街中での道案内など、職場(アルバイト)やボランティア時、あるいは日常生活で外国人と接する場面を想定し、そのような状況で起こりうる会話表現を、リスニングとスピーキングの双方で学んでいきます。		
キーワード / Key word	ホスピタリティ、ペアワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Tae Kudo, "You're Welcome!: Communication with Tourists Made Easy" (Cengage Learning) * 2,000 yen + tax		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3step CALL system: 30% (小テスト2回、学習時間15時間)</li> <li>・Power Words: 10% (ユニット1~50)</li> <li>・授業ごとの予習・復習テスト: 30%</li> <li>・定期試験: 30%</li> </ul>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特にありません。		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	事前の予習として、各ユニットの2種のダイアログを少なくとも2回聴き、シャドーイングを少なくとも2回おこなっておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
Oct 3	Unit 1: For here, or to go? (Pages 9-16)		
Oct 17	Unit 1: For here, or to go? (Pages 9-16)		
Oct 24	Unit 2: How many are in your party? (Pages 27-34)		
Oct 31	Unit 3: I'll be right back. (Pages 25-32)		

Nov 7	3step小テスト1回目 Unit 4: Would you like me to heat this up? (Pages 33-40)
Nov 14	Unit 5: Your total comes to 3,240 yen. (Pages 41-48)
Nov 21	Unit 6: I'm truly sorry for the trouble. (Pages 49-60) * Nov 25 (Fri.) PowerWords1回目締切
Nov 28	Unit 7: Do you have a reservation? (Pages 61-68)
Dec 5	Unit 8: Wi-Fi is available in this area. (Pages 69-76)
Dec 12	Unit 9: I highly recommend Sakura Restaurant. (Pages 77-84)
Dec 19	3step小テスト2回目 Units 1-6: Review Test
Dec 26	Unit 10: Turn right at the first intersection. (Pages 85-92)
Jan 16	Unit 11: Take the subway to Homnachi. (Pages 93-100) * Jan 20 (Fri.) PowerWords2回目締切、3step学習時間締切
Jan 23	Unit 12: First, put money in the machine. (Pages 101-108)
Jan 30	Units 7-12: Review Test
Feb 6	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005010	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴取の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業到達目標/Goal	英語によるテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業方法(学習指導法) / Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。</p> <p>定期試験 16回目開講時</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 10(金星堂) 副教材: Culture Listening USA(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p> <p>課外学習のe-learning 40%(3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements	教科書を購入し、英和辞典を必ず携帯して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修め妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TELL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/7 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	4/14 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ		
第3回	4/21 副教材 Unit 2、主教材 教科書 1課、新章へ		

第4回	4/28 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1 課、新章へ
第5回	5/12 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1 課、新章へ
第6回	5/19 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1 課、新章へ 3 Step Call小テスト第一回目
第7回	5/26 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ
第8回	6/2 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ
第9回	6/9 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ
第10回	6/16 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ
第11回	6/23 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ
第12回	6/30 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ 3 Step Call 小テスト2回目
第13回	7/7 副教材 Unit 16、主教材 教科書 1 課、新章へ
第14回	7/14 副教材 Unit 17、主教材 教科書 1 課
第15回	7/21 副教材 Unit 19、主教材 教科書 1 課
第16回	7/28 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005011	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2L2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日昼休み または、muraoka@n-junshin.ac.jp にて随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標 / Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容 / Class outline / Con	視聴覚教材を用いながら、ストーリーの内容を把握し、スクリプトの文法や英語表現に習熟する。		
キーワード / Key word	English Communication		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Music of the Heart (EIHOSHA)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト: 10% プレゼンテーション: 10% 定期試験: 40% 課外学習の e-learning: 40% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するために、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先: TEL: 095-819-2006 FAX: 095-819-2948 E-MAIL: support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回、課題プリントを予習して臨んで下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月7日: イントロダクション		
第2回	4月14日: 第1章		
第3回	4月21日: 第2章		
第4回	4月28日: 第3章		
第5回	5月12日: 第4章		
第6回	5月19日: 第5章 / 3-step 小テスト		
第7回	5月26日: 第6章		
第8回	6月2日: 第7章		
第9回	6月9日: 第8章		
第10回	6月16日: 第9章		
第11回	6月23日: 第10章		
第12回	6月30日: 第11章 / 3-step 小テスト		

第13回	7月7日：第12章
第14回	7月14日：プレゼンテーション準備
第15回	7月21日：プレゼンテーション
第16回	7月28日：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005012	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L3) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語をCDで聴きながら内容を理解しリスニング力を付ける。正確な発音と英文のリズムを体得する。またテキストの内容に関連した身近で社会的な問題に対して英語で答えたり話し合うことで、英語の表現力を強化する。		
授業到達目標 / Goal	CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようにする。日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	最初にスクリプト中の重要単語の意味、発音のチェックを行う。日本語で内容を把握した後、CDを聴きながらディクテーションを行いスクリプトを完成させる。内容や発音についての問いに答える。大事な構文や表現の優れた文章は暗唱する。最後に内容に関連した様々なテーマについて英語で答えたり、話し合ったりする。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回リスニングを中心に進める。スクリプトを完成させ内容を把握する。		
キーワード / Key word	リスニング、ディクテーション、語彙		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Story Box Gifts from Great Tellers (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10%、 定期試験 50%、 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL System 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	内容それ自体がおもしろく魅力ある物語をテキストとして取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (授業の進め方について) Unit 1: Happy Prince Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第2回	Unit 2: Happy Prince Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第3回	Unit 3: Black Beauty Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第4回	Unit 4: Black Beauty Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第5回	Unit 5: Twelfth Night Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		

第6回	3Step小テスト(1) Unit 6: Twelfth Night Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第7回	Unit 7: Twelfth Night Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第8回	unit 8: The Three Musketeers Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第9回	unit 9: The Three Musketeers Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第10回	unit 10: The Three Musketeers Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第11回	Unit 11: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第12回	3Step(2)小テスト Unit 12: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第13回	Unit 13: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第14回	Unit 14: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 4 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第15回	授業の総括と問題演習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005013	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L4) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴取の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業到達目標/Goal	英語によるテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。</p> <p>定期試験 16回目開講時</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 10(金星堂) 副教材: Culture Listening USA(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p> <p>課外学習のe-learning 40%(3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修め妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TELL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/7 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	4/14 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ		
第3回	4/21 副教材 Unit 2、主教材 教科書 1課、新章へ		

第4回	4/28 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1 課、新章へ
第5回	5/12 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1 課、新章へ
第6回	5/19 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1 課、新章へ 3 Step Call小テスト第一回目
第7回	5/26 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ
第8回	6/2 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ
第9回	6/9 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ
第10回	6/16 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ
第11回	6/23 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ
第12回	6/30 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ 3 Step Call 小テスト2回目
第13回	7/7 副教材 Unit 16、主教材 教科書 1 課、新章へ
第14回	7/14 副教材 Unit 17、主教材 教科書 1 課
第15回	7/21 副教材 Unit 19、主教材 教科書 1 課
第16回	7/28 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005014	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L5) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語をCDで聴きながら内容を理解しリスニング力を付ける。正確な発音と英文のリズムを体得する。またテキストの内容に関連した身近で社会的な問題に対して英語で答えたり話し合うことで、英語の表現力を強化する。		
授業到達目標 / Goal	CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようにする。日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	最初にスクリプト中の重要単語の意味、発音のチェックを行う。日本語で内容を把握した後、CDを聴きながらディクテーションを行いスクリプトを完成させる。内容や発音についての問いに答える。大事な構文や表現の優れた文章は暗唱する。最後に内容に関連した様々なテーマについて英語で答えたり、話し合ったりする。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回リスニングを中心に進める。スクリプトを完成させ内容を把握する。		
キーワード / Key word	リスニング、ディクテーション、語彙		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Story Box Gifts from Great Tellers (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10%、 定期試験 50%、 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL System 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	内容それ自体がおもしろく魅力ある物語をテキストとして取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (授業の進め方について) Unit 1: Happy Prince Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第2回	Unit 2: Happy Prince Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第3回	Unit 3: Black Beauty Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第4回	Unit 4: Black Beauty Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第5回	Unit 5: Twelfth Night Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		

第6回	3Step小テスト(1) Unit 6: Twelfth Night Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第7回	Unit 7: Twelfth Night Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第8回	unit 8: The Three Musketeers Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第9回	unit 9: The Three Musketeers Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第10回	unit 10: The Three Musketeers Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第11回	Unit 11: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第12回	3Step(2)小テスト Unit 12: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第13回	Unit 13: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第14回	Unit 14: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 4 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第15回	授業の総括と問題演習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005015	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L6) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスはテキストの著者が感じた日米の差のエピソードを読み、日米の比較文化について理解を深め、それぞれのエピソードに触れ、自身がどのように感じたか意見が述べられるスピーキング力、および、リスニング力の養成を行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは大意をとる練習をします。関連情報を参考に、視野をひろげ、自身の考えを述べられるようスピーキングやライティングの訓練をします。		
授業内容 / Class outline / Con	まずはUnitに登場する重要語彙の確認を行います。続いて、リーディング内容の確認を行います。次に、単語、フレーズのリスニング強化を図ります。最後に、リーディングの内容を踏まえて、自身が感じたことを伝えるライティング力の強化を図ります。		
キーワード / Key word	Manners, Difference, Views		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Eye on America selected 三修社 1,800円 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず (正当な理由で) 欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英字新聞に目を通したり、テレビの音声を英語音声、英語字幕に切り替えると英語の力がさらにつくと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Unit 1 THE GPA SYSTEM: STUDY HARD OR LEAVE		
第3回	Unit 2 POTLUCK PARTY: BRING WHAT YOU HAVE		
第4回	Unit3 SELLING TEXTBOOKS AFTER EXAMS		
第5回	Unit 4 THE RULES OF INTRODUCTIONS		
第6回	3 step 小テスト Unit 5 HOLDING THE DOOR FOR OTHER PEOPLE		
第7回	Unit 6 NEVER LETTING ANYONE CUT IN LINE		
第8回	Unit 7 ATTITUDES TOWARD SMOKING		
第9回	Unit 8 INTOLERANCE OF DRUNKS		
第10回	Unit 9 SCARY PUBLIC RESTROOMS		

第11回	Unit 10 IMPOLITE STORE CLERKS
第12回	3 step 小テスト Unit 11 THE TROUBLESOME CUSTOM OF TIPPING
第13回	Unit 12 HOTEL ROOM CHARGES: HOW MANY ROOMS? NOT HOW MANY GUESTS
第14回	Unit 13 INDEPENDENT - MINDED CHILDREN
第15回	Unit 14 HUSBANDS CONTROLLING THE FAMILY BUDGET
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005016	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2E1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控入室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後10分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業到達目標/Goal	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業方法(学習指導法)/Method	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(表現を覚えるなど)と会話練習を行う。後半では日常会話文を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあったり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	Speaking		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E-Learning (リスニング小テストを含む) 40 % スピーチ5回 50 % (1-4回: 8点×4、5回目18点) 課題提出・授業中の活動 10 % (提出課題は期限厳守のこと)		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family(会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)		
第2回	Skit 3-6 : Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)		
第3回	JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について		

第4回	<自分の自己紹介文の最終原稿（パソコンうち）提出>
第5回	スピーチ1：自己紹介（一班） Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて（宿題）
第6回	スピーチ1：自己紹介（二班） Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。 自分の週末などについて書く（宿題）
第7回	3-Step小テスト（1） 会話練習、スピーチ練習、Skit 10
第8回	スピーチ2：週末について等（1分以上、全員） Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く（宿題）
第9回	Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。 怪我、失敗談やそこから学んだこと、困ったことやその解決談、などについて書く（宿題）
第10回	スピーチ3：怪我・失敗談など（1分以上、全員） Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く（宿題）
第11回	3-Step小テスト（2）、Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。 パーティや楽しかったイベントなどについて書く（宿題）
第12回	スピーチ4：パーティー、イベント、楽しい話など（1分以上、全員） Skit11を読んで、タロウとアキについて書く（宿題）
第13回	Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。 春休みの計画、将来の計画などについて書く（宿題）
第14回	<スピーチ5の原稿（パソコンうち）提出> スピーチ練習
第15回	一班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 二班：スピーチ観賞
第16回	二班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 一班：スピーチ観賞

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005017	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部 (2 E 2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamasaki@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーション的な活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることが出来る英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
授業方法 (学習指導法) / Method	リスニングとスピーキングを組み合わせながら、音のつながりや脱落など、英語の発音の練習をする。英語圏の大都市で日本人が実際に現地の人々と遭遇し、語り合っていくという設定のもとで、英語圏での経験や出来事を英語で聞き、実際に英語で対話練習をする。		
授業内容 / Class outline / Con	様々な英語表現を含む文章を聞き、未知の英語表現を各話題の内容に沿った形でそれぞれの意味を推測していく。また、英語圏と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景についても考える。		
キーワード / Key word	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『英会話の教科書』(Jリサーチ出版)、別にペアワーク用のハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%, E-Learning 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮については、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学習支援室)にご相談ください。 「アシスト広場」(障がい学習支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	午前中の授業ですので遅刻・欠席に注意してください。英語による円滑なコミュニケーションを目指して、一緒に頑張りましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	英語の音声システム (日本語との比較と発音練習)		
2回	初対面のあいさつ、自己紹介		
3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う		
4回	お礼を言う・謝る		
5回	ほめる・誘う		
6回	お悔やみ		
7回	中間試験 (3-STEP小テスト・Listening Comprehension Quiz)		
8回	人間関係は対等・まず結論ありき		
9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ		
10回	色の表現・語順はやっかいだ		
11回	中間試験 (3-STEP小テスト・Listening Comprehension Quiz)		

12回	そのカタカナ英語、通じない！
13回	曖昧表現・間接表現
14回	謙讓表現・丁寧さを出すノウハウ
15回	まとめ
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005018	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E3) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	音声言語及び文字言語による基礎的英語運用能力を高めます。より具体的には、日常の事柄や国際社会での出来事に関して、スピーキング又はライティング活動により意見を表現できるようにします。またその前提として、リスニング力とリーディング力にかかわる基礎的スキルを身につけます。		
授業到達目標 / Goal	論理的な会話を聞き取り、理解できること。そのうえで、自分の意見を言えること。相手を説得するために論を組み立て、自分の力の範囲内で、できるだけ効果的に言え、書けること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式。 基本的には2人、あるいは4人で組んで、自分の意見を言う場数を踏みます。言った後は文で書いてみます。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストの各ユニットは、それぞれのテーマについて複数の人物が意見を述べ合っている長めの会話 Dialogue を中心に構成されています。Dialogue を聞き、発音練習してから、Comprehension でいくつかの設問に答えて内容が理解できているかをチェックし、Dictation では内容の要約文の空白箇所を聞き取って書きます。Discussion はこの内容に関わる議論を周りの人とし、What's your opinion? では、応用として新たに与えられたテーマについて短文を書いてから、意見を言い、時々提出します。これらの活動のまとめとして、Write a paragraph では、文を書き、これは隔週で提出します。さらに Start a conversation や Role-play を利用して、さらにスキルを磨きます。 意見を言うためにはまず自分の意見がなくてははいけません。自分で考えてみる習慣をつけつつ、それを説得的に表現できよう練習します。		
キーワード / Key word	まず言ってみる 恥ずかしがらない		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Reflections: Talking about Things That Matter, NAN'UN-DO, CD付き, 1700円+税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験約30%、隔週提出の英作文約15%、授業での提出物、積極的な参加等約15%、課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則です。教科書を購入して第一回目に臨んで下さい。第一回目から授業に入ります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシス広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシス広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	隔週で英作文を提出してもらいます。これは大変ですが、先輩方も頑張ってきましたし、好評でもありました。予習して授業に臨むことが原則です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 What kind of person do you respect?		
第2回	Unit 2 Are you ready for your first job interview?		
第3回	Unit 3 Do you exercise?		
第4回	Unit 4 Are you afraid of the future?		

第5回	Unit 5 What will happen to the global economy?
第6回	Unit 6 Have you ever been guilty of telling a white lie?
第7回	第1回3step小テスト(15分程度) Unit 7 Can you eat sushi?
第8回	Unit 8 Hobby, habit, or addiction?
第9回	Unit 9 Can money buy happiness?
第10回	Unit 10 Is it positive or negative peer pressure?
第11回	第2回3step小テスト(15分程度) Unit 11 Do you vote?
第12回	Unit 12 Are you a difficult or an easy person to get along with?
第13回	Unit 13 Can you live without your cellphone?
第14回	Unit 14 What is the most effective way to study?
第15回	Unit 15 Is one gender superior to the other?
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005019	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E4) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部 (2 E 4)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamasaki@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることが出来る英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
授業方法 (学習指導法) / Method	リスニングとスピーキングを組み合わせながら、音のつながりや脱落など、英語の発音の練習をする。英語圏の大都市で日本人が実際に現地の人々と遭遇し、語り合っていくという設定のもとで、英語圏での経験や出来事を英語で聞き、実際に英語で対話練習をする。		
授業内容 / Class outline / Con	様々な英語表現を含む文章を聞き、未知の英語表現を各話題の内容に沿った形でそれぞれの意味を推測していく。また、英語圏と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景についても考える。		
キーワード / Key word	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『英会話の教科書』(Jリサーチ出版)、別にペアワーク用のハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%, E-Learning 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮については、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学習支援室)にご相談ください。 「アシスト広場」(障がい学習支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	午前中の授業ですので遅刻・欠席に注意してください。英語による円滑なコミュニケーションを目指して、一緒に頑張りましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	英語の音声システム (日本語との比較と発音練習)		
2回	初対面のあいさつ、自己紹介		
3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う		
4回	お礼を言う・謝る		
5回	ほめる・誘う		
6回	お悔やみ		
7回	中間試験 (3-STEP小テスト・Listening Comprehension Quiz)		
8回	人間関係は対等・まず結論ありき		
9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ		
10回	色の表現・語順はやっかいだ		
11回	中間試験 (3-STEP小テスト・Listening Comprehension Quiz)		

12回	そのカタカナ英語、通じない！
13回	曖昧表現・間接表現
14回	謙讓表現・丁寧さを出すノウハウ
15回	まとめ
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005020	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E5) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。CALL教室のいろいろな機能やインターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	テキストとワークブック、副読本を使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読、多読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection、副読本		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System 30%, Power Words 10%), 授業中の発表10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
第2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
第3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
第4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
第5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning		
第6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning		
第7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning、3step小テスト(1)		
第8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
第9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
第10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
第11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning、3step小テスト(2)		
第12回	教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning		

第13回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
第14回	教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning
第15回	教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005021	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E6) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2E2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控入室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後10分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業到達目標/Goal	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業方法(学習指導法)/Method	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(表現を覚えるなど)と会話練習を行う。後半では日常会話文を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあったり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	Speaking		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E-Learning (リスニング小テストを含む) 40 % スピーチ5回 50 % (1-4回: 8点×4、5回目18点) 課題提出・授業中の活動 10 % (提出課題は期限厳守のこと)		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family (会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)		
第2回	Skit 3-6 : Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)		
第3回	JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について		

第4回	<自分の自己紹介文の最終原稿（パソコンうち）提出>
第5回	スピーチ1：自己紹介（一班） Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて（宿題）
第6回	スピーチ1：自己紹介（二班） Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。 自分の週末などについて書く（宿題）
第7回	3-Step小テスト（1） 会話練習、スピーチ練習、Skit 10
第8回	スピーチ2：週末について等（1分以上、全員） Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く（宿題）
第9回	Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。 怪我、失敗談やそこから学んだこと、困ったことやその解決談、などについて書く（宿題）
第10回	スピーチ3：怪我・失敗談など（1分以上、全員） Skit 12 を読んで、マリとユウタについて書く（宿題）
第11回	3-Step小テスト（2）、Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。 パーティや楽しかったイベントなどについて書く（宿題）
第12回	スピーチ4：パーティー、イベント、楽しい話など（1分以上、全員） Skit11を読んで、タロウとアキについて書く（宿題）
第13回	Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。 春休みの計画、将来の計画などについて書く（宿題）
第14回	<スピーチ5の原稿（パソコンうち）提出> スピーチ練習
第15回	一班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 二班：スピーチ観賞
第16回	二班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 一班：スピーチ観賞

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005022	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語コミュニケーション能力のうち、特にリスニング力とスピーキング力の向上を目指す授業です。		
授業到達目標 / Goal	<p>(1) 日常レベルの会話、およびナレーションを、ややゆっくりとしたスピードであれば8割以上理解できるようになる。</p> <p>(2) そのために必要な基礎的な語彙力、音、意味、語法のすべてにおいて自由に使えるようになる。</p> <p>(3) リスニングを通して身につけた表現を、実際にスピーキングで使えるようになる。特に、長崎に来る外国人観光客に対して、英語で基本的な対応ができるようになる。</p> <p>以上を目標とします。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	音声教材を使って、リスニングとスピーキングの練習をおこないます。スピーキングについては、基本的にペアワークを中心とします。		
授業内容 / Class outline / Con	商業施設での接客対応や街中での道案内など、職場(アルバイト)やボランティア時、あるいは日常生活で外国人と接する場面を想定し、そのような状況で起こりうる会話表現を、リスニングとスピーキングの双方で学んでいきます。		
キーワード / Key word	ホスピタリティ、ペアワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Tae Kudo, "You're Welcome!: Communication with Tourists Made Easy" (Cengage Learning) * 2,000 yen + tax		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3step CALL system: 30% (小テスト2回、学習時間15時間)</li> <li>・ Power Words: 10% (ユニット1~50)</li> <li>・ 授業ごとの予習・復習テスト: 30%</li> <li>・ 定期試験: 30%</li> </ul>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特にありません。		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	事前の予習として、各ユニットの2種のダイアログを少なくとも2回聴き、シャドーイングを少なくとも2回おこなっておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
Oct 3	Unit 1: For here, or to go? (Pages 9-16)		
Oct 17	Unit 1: For here, or to go? (Pages 9-16)		
Oct 24	Unit 2: How many are in your party? (Pages 27-34)		
Oct 31	Unit 3: I'll be right back. (Pages 25-32)		

Nov 7	3step小テスト1回目 Unit 4: Would you like me to heat this up? (Pages 33-40)
Nov 14	Unit 5: Your total comes to 3,240 yen. (Pages 41-48)
Nov 21	Unit 6: I'm truly sorry for the trouble. (Pages 49-60) * Nov 25 (Fri.) PowerWords1回目締切
Nov 28	Unit 7: Do you have a reservation? (Pages 61-68)
Dec 5	Unit 8: Wi-Fi is available in this area. (Pages 69-76)
Dec 12	Unit 9: I highly recommend Sakura Restaurant. (Pages 77-84)
Dec 19	3step小テスト2回目 Units 1-6: Review Test
Dec 26	Unit 10: Turn right at the first intersection. (Pages 85-92)
Jan 16	Unit 11: Take the subway to Homnachi. (Pages 93-100) * Jan 20 (Fri.) PowerWords2回目締切、3step学習時間締切
Jan 23	Unit 12: First, put money in the machine. (Pages 101-108)
Jan 30	Units 7-12: Review Test
Feb 6	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005023	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Goal	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業内容/Class outline/Con	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音を出るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。 下記には理想的な進行を計画として立てておりますが、クラスの能力によっては進行を遅くする場合も想定されます。		
キーワード/Key word	脱受験英語 イメージからの英語表現へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Let's Make a Skit Presentation (英宝社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) この授業では、辞書はかなり重要です。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL30%, PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 15% Final Examination 30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断遅刻・欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction		

第2回	Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making
第3回	Unit 2,3 言語機能別英会話(2),主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定
第4回	Unit 4,5 疑問文のパターン(1), (2)
第5回	Unit 6,7 助動詞を使った文(1), (2) 11月7日 3Step小テスト1回目
第6回	Preparation for the Mid-Term Examination 調査した表現・これまでの授業で学んだ文法の確認
第7回	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) ~ 11月25日(金) PowerWords 1回目締切り
第8回	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析
第9回	Unit 8 名詞節を使った文(1) Group Making Topicの決定 Final Examinationに向けてGroupとしての取り決め(反省点をいかして)
第10回	Unit 9 名詞節を使った文(2) Final Examinationに向けてTopicの最終決定期限
第11回	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文 12月19日 3Step小テスト2回目
第12回	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第13回	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! ~ 1月20日(金) PowerWords2回目締切り・3Step学習時間締切り
第14回	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! Mid-Term Examを省みて修正した事項を最終確認
第15回	Final Examination, Group Presentation
第16回	Final Examination, Group Presentation

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005024	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T3) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標 / Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。CALL教室のいろいろな機能やインターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストとワークブック、副読本を使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード / Key word	リピーティング、シャドウイング、音読、多読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社, Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System 30%, Power Words 10%), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
第2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
第3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
第4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
第5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning、3step小テスト(1)		
第6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning		
第7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
第8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
第9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
第10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
第11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning、3step小テスト(2)		
第12回	教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning		

第13回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
第14回	教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning
第15回	教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005025	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T4) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(メールにより受付)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業時にアクティビティを行うことにより、コミュニケーションに必要な能力の養成を行う。一方で、発信力を高めるために必要な他の技能等を養う。		
授業到達目標/Goal	英語を使うトレーニングを通し、今後の研究や社会で英語を使える力を養う。		
授業方法(学習指導法)/Method	主にペア・グループワーク		
授業内容/Class outline/Con	Listening activityと共に音読をし、発音練習を行う。Speaking を通し間違えを恐れずに発話する力を養う。Active learningを通し他の生徒と協力して英語を実践レベルで使う。Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行う。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English Central, News in levels (その他インターネット記事)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(10回実施) 10% プレゼンテーショングループ評価 20% 定期試験 30% 3 Step Call System 30% Power Word 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は今まで学んできた英語を実際に使うことを目的とします。これからの学習、及び社会において英語がどのように関わってくるか意識しながら英語を使う練習をしましょう。何かを受動的に学ぶというよりも積極的に自らの意見を述べ、全生徒が活発的に授業に参加してください。会話練習においては、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じてくれたらと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 (3 Oct.)	オリエンテーション / Group activity		
2 (17 Oct.)	小テスト / Listening activity / Group activity		
3 (24 Oct.)	小テスト / Listening activity / Group activity		
4 (31 Oct.)	小テスト / Listening activity / Group activity		
5 (7 Nov.)	3 Step 小テスト1回目 / Group activity		
6 (14 Nov.)	小テスト / Listening activity / Group activity		
7 (21 Nov.)	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>		
8 (28 Nov.)	第1回 プレゼン「自由課題(工学に関するテーマ)」		
9 (5 Dec.)	小テスト / Speaking practice / Group activity		
10 (12 Dec.)	小テスト / Speaking practice / Group activity		
11 (19 Dec.)	3 Step 小テスト1回目 / Group activity		
12 (26 Dec.)	小テスト / Speaking practice / Group activity		

13 (16 Jan.)	小テスト / Speaking practice / Group activity
14 (23 Jan.)	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>
15 (30. Jan.)	第2回 プレゼン「自由課題(工学に関するテーマ)」
16 (6 Feb.)	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005026	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T5) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	英語コミュニケーション (2T5)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	メールで連絡してください		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日の昼休みに非常勤講師室に来てください		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の4技能の運用能力の向上を目指す授業です。読んで訳す授業ではなく、読んだり聴いたりしたものを理解し英語で自分の言葉で表現することにより、英語を使うことに慣れていきます。		
授業到達目標 / Goal	アメリカの大学生と日本人学生の英語による会話を聞き取り、アメリカと日本の大学生生活の違いに気づき、なおかつ、日本のことを英語で説明できるようになることを目標とする。英語の聞き取りに必要な様々な音声学的なことを理解し、リスニング力の向上を目指す。さらに、英語で自己表現をする際に基本動詞を使いこなせることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	毎回の授業でリスニング活動を行い、聞き取りにくい音声現象について学び聞き取りの練習をする。さらに、内容に関する内容を英語で質疑応答し、さらに、日本の特徴について英語で説明できるように練習する。学生が英語を使う機会を多く設定するので、積極的に英語を使ってもらおう。		
授業内容 / Class outline / Con	アメリカの大学と日本の大学を比較しながら、大学生同士の会話を聞き取り、日本の大学生や大学生活について客観的に理解し、英語で説明ができるようにする授業である。表現の幅を広げるために、英語の基本動詞を使いこなせるように文をたくさん産出してもらおう。		
キーワード / Key word	英語コミュニケーション、リスニング、スピーキング、アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Toshiaki Nishihara 他 『Cultural Encounters』 (Cengage Learning)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	筆記試験 (リスニング含む) 60% 3 step CALL system 30% Power Words 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	積極的に英語を使うこと		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語を使う積極的な態度を歓迎します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1. On Campus Facilities (linking, verbs: show & run)		
第2回	Unit 2. Classrooms in America ( drops, verbs: cover & bring)		
第3回	Unit 3. House Sharing ( assimilation, verbs: put & visit )		
第4回	Unit 4. Tutorial Support ( sound change, verbs: feel & pay )		
第5回	Unit 5. Blind Date ( weakening, verbs: agree & meet ) 3 step test #1		
第6回	Unit 6. Wedding Announcement ( various sound changes, verbs: stay & appear )		
第7回	Unit 7. Keeping a Better Relationship ( /h/ drops, verbs: keep & suit )		
第8回	Unit 8. Pre-wedding Parties (two kinds of /l/ sound, verbs: plan & invite )		
第9回	Unit 9. Drinking Limits ( variation of /t/ sounds, verbs: go & come )		

第10回	Unit 10. Speed Limits ( English Rhythm, verbs: drive & open )
第11回	Unit 11. A National Pastime ( English Rhythm, verbs: pour & glue ) 3 step test #2
第12回	Unit 12. How to Spend the Weekends ( English Rhythm, verbs: tell & start )
第13回	Unit 13. Words of Encouragement ( English Rhythm, verbs: turn & wear )
第14回	Ted Talks listening (1)
第15回	Ted Talks listening (2)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005027	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T6) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2T6)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	pro-1223@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了直後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	「科学はコミュニケーションでできている」という考えを基礎に様々なサイエンス・コミュニケーション論文、専門書、書籍、新聞を扱う。コミュニケーションのスピードが日に日に増している。情報が速く、大量に回れば、それだけ科学の発達も早まり、新しい科学技術の応用の限界を決める話し合いが追いつかなくなっている。英語を通じて、社会と密接にかかわっている科学の全体像を把握して、視野を広げていくことを期待したい。		
授業到達目標 / Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法) / Method	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回一つずつUnitを進む。Warming Up Science Communicationに必要な英文法 Reading Writing の流れで進む。また、各所で、文法演習問題、内容確認問題 / 語彙・文法問題、演習問題、実践課題を行っていく。また、小テストとして単語テストを実施する。		
キーワード / Key word	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary/Grammar		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Science Communication in English (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間試験20%、定期試験20%、小テスト10%、課外学習のe-learning40%(3 Step CALL30%、Power Words10%)、授業への姿勢(発言、質問など)10%		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	予習のときにReadingを一読した後は、注と【語彙・文法問題】に目を通してから、辞書をひいて読み直してほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 / 4/12	Orientation & Quiz: これからの学習の準備		
第2回 / 4/19	Unit 1 Science and Communication: 現在形と現在進行形		
第3回 / 4/26	Unit 2 Engineered Sakura: 仮定法(特殊)		
第4回 / 5/10	Unit 3 Science Is for Everyone: to不定詞(= to + 動詞の原形)		
第5回 / 5/24	Unit 4 Galileo and Science Communication: 接続詞 3 Step教材の小テスト(1)		
第6回 / 5/31	Unit 5 What Is Information?: 仮定法		

第7回 / 6/7	Unit 6 The Advent of Writing: 関係代名詞
第8回 / 6/14	前半のまとめ (筆記試験を含む)
第9回 / 6/21	Unit 7 Leonardo da Vinci 's Perspective: 分詞構文
第10回 / 6/28	Unit 8 Scientific Insight into Colors: 受動態・能動態 3 Step教材の小テスト(2)
第11回 / 7/5	Unit 9 Into the Future: 句動詞
第12回 / 7/12	Unit 10 Obesity/Child care: Body mass index may not reflect child obesity: 句動詞
第13回 / 7/19	Unit 11 Communication through Occupation: 代名詞
第14回 / 7/26	Unit 12 The Hope of and Anxiety over Robots and Automation: 動名詞
第15回 / 8/2	後半のまとめ (定期試験を含む)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005028	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T7) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部(2T7)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、学習状況(理解度、進度)に応じて、シラバスの内容を変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 40%・課題20%・期末試験40%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題20%・期末試験40%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1		
3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2		
4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3		
5回	3STEP小テスト(第1回)、アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1		
6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2		
7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3		
8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック		
9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1		
10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2		

11回	3STEP小テスト(第2回) アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
15回	授業全体のまとめ、フィードバック
16回	学期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005029	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T8) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T8		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは流行、旅行、健康等、多岐にわたる話題に触れ、それぞれのトピックに関する自身の考えを伝えるライティング力の養成と、リスニング力の養成を行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは大意をとる練習をします。関連情報を参考に、視野をひろげ、自身の考えを述べられるようスピーキングやライティングの訓練をします。		
授業内容 / Class outline / Con	まずはChapterに登場する重要単語の確認を行います。続いて、リーディング内容の確認を行い、Writingで自身がリーディングの内容を踏まえてどのように感じたのか、自身の考えを述べるライティング力の強化を図ります。		
キーワード / Key word	Trends, Culture, Health, Business, Travel		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Trend Watching 成美堂 1,900円+税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、 Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英字新聞に目を通したり、テレビの音声を英語音声、英語字幕に切り替えると英語の力がさらにつくと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Chapter 1 Things Young People Are Less Interested in		
第3回	Chapter 2 What's in a Name?		
第4回	Chapter 3 Throwing It All Away...the Danshari Boom		
第5回	3 step 小テスト Chapter 4 Everything Caught on Video		
第6回	Chapter 5 Employers Checking Facebook		
第7回	Chapter 6 LCGs - Low Cost Carriers		
第8回	Chapter 7 Young People Don't Travel Abroad		
第9回	Chapter 8 Foreign Views of Japanese Culture		
第10回	Chapter 9 Rethinking University Education		

第11回	3 step 小テスト Chapter 10 Graffiti - Is It Artistic Expression?
第12回	Chapter 11 Asian Dust and PM 2.5 - A Deadly Mix
第13回	Chapter 12 Tsunami Countermeasures
第14回	Chapter 13 Bright White Teeth for Everybody
第15回	Chapter 14 Helium in Short Supply
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005030	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T9) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。派生語・適語選択・会話表現の問題を解き、解説を行う。何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>日常生活及び学生生活に即したテーマを中心とした、普遍的な状況の中で交わされる、実践的な親しみやすいダイアログについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。</p>		
キーワード/Key word	様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現 / 多彩なトピックス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	A Shorter Course in Situational Conversation 『英語会話』 (赤川裕: 南雲堂) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。</p>		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月12日	導入・授業内容の説明
第2回 4月19日	Topics 1・2・3
第3回 4月26日	Topics 4・5・6
第4回 5月10日	Topics 7・8・9
第5回 5月17日	Topics 10・11・12・13 第1回 3 Step 小テスト
第6回 5月24日	Topics 14・15・16・17
第7回 5月31日	Topics 18・19・20
第8回 6月7日	Topics 21・22・23
第9回 6月14日	Topics 24・25・26
第10回 6月21日	Topics 27・28・29
第11回 6月28日	Topics 30・31・32 第2回 3 Step 小テスト
第12回 7月5日	Topics 34・35・36
第13回 7月12日	Topics 37・38・39
第14回 7月19日	Topics 40・41・42
第15回 7月26日	Topics 43・44
第16回 8月2日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005031	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T10) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2T10)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水5 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信もって英語でできるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングの問題の解答を作成して、授業に臨んでください。授業では、CDを用いて解答の確認をし、それらの英文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、簡単な日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。  授業はテキストを用いて、CDを聞きながら、予習してきてもらったリスニング問題の解答を行います。その後、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、ダイアログを作成したり、日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。 さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 なお、e-learning 教材を課題学習として、授業外に行ってもらいますが、授業中も30分程度、3 Step と Power Wordsの学習をしてもらい、その内容の指導や小テストも行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Let's Make a Skit Presentation! (英宝社) ¥1,800		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、プレゼンペーパー5% 授業でのアクティビティ5% e-learning 40% で行います。 e-learning の内容に関しては、1回目の授業時に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション リピーティング練習体験 機能編：質問する、依頼する、確認する等 日本文化を語る 金沢 Power Words Level 5 Unit 1-5 3 Step New York Lives,
第2回	リピーティング練習1 機能編：あやまる、感謝を表す、賛成する等 日本文化を語る 小笠原諸島 3 Step New York Live, Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	リピーティング練習2 主語をつかひこなす 日本文化を語る 長崎県 3 Step New York Live, Power Words Level 5 小テスト
第4回	リピーティング練習3 疑問文パターン練習(1) 日本文化を語る 入学式 3 Step New York Live, Power Words Level 5 Unit 11-15
第5回	リピーティング練習4 疑問文パターン練習(2) 日本文化を語る 焼酎 3 Step New York Live テスト, Power Words Level 5 Unit 16-20
第6回	リピーティング練習5 助動詞の気持ちをつかむ(1) 日本文化を語る 留学 Power Words Level 5 小テスト 3 Step New York Live
第7回	リピーティング練習6 助動詞の気持ちをつかむ(2) 日本文化を語る 漫画 スピーチ練習課題A作成指導 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 21- 25
第8回	リピーティング練習7 名詞節が含まれる文(1) 日本文化を語る 祇園祭り スピーチ練習課題A提出 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 26-30
第9回	リピーティング練習8 名詞節が含まれる文(2) 日本文化を語る 九州 スピーチ練習課題Aを用いたペアー練習 3 Step New York Live Power Words Level 5 小テスト
第10回	リピーティング練習9 完了形の文 日本文化を語る 日本人のマナー スピーチ練習課題Aを用いたペアー練習 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 31-35
第11回	リピーティング練習10 進行形、受動態を含んだ文 日本文化を語る 野球 3 Step New York Live テスト, Power Words Level 5 Unit 36-40
第12回	リピーティング練習 比較表現 日本文化を語る ラーメン Power Words Level 5テスト

第13回	リピーティング練習12 動詞のパターン練習 日本文化を語る 島津斉彬と集成館 スピーチ練習課題B作成指導 Power Words Level 5 Unit 41~45
第14回	リピーティング練習13 使役動詞のパターン 日本文化を語る 歌舞伎 スピーチ練習課題B提出 ペア練習 Power Words Level 5 Unit 46~50
第15回	リピーティング練習14 知覚動詞のパターンテキスト 日本文化を語る 自動車産業 スピーチ練習課題B ペア練習 Power Words Level 5 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005032	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2D1・2D2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語コミュニケーション能力のうち、特にリスニング力とスピーキング力の向上を目指す授業です。		
授業到達目標 / Goal	(1) 日常レベルの会話、およびナレーションを、ややゆっくりとしたスピードであれば8割以上理解できるようになる。 (2) そのために必要な基礎的な語彙力、音、意味、語法のすべてにおいて自由に使えるようになる。 (3) リスニングを通して身につけた表現を、実際にスピーキングで使えるようになる。 以上を目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	DVD教材を使って、リスニングとスピーキングの練習をおこないます。スピーキングについては、基本的にペアワークを中心とします。		
授業内容 / Class outline / Con	日本で働いている様々な国籍・業種の人への英語インタビュー映像を収録したDVDを用いて、ビデオ視聴アクティビティを中心に授業をおこないます。		
キーワード / Key word	英語インタビュー、ペアワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Alice Gordenker & John Rucynski, "Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals" (Cengage Learning) *2,400 yen + tax		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3step CALL system: 30% (小テスト2回、学習時間15時間)</li> <li>・Power Words: 10% (ユニット1~50)</li> <li>・授業ごとの予習・復習テスト: 30%</li> <li>・定期試験: 30%</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Requirements	特にありません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	事前の予習として、DVDの英語インタビューを字幕なしで少なくとも2回、字幕付きで少なくとも1回は視聴しておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
#1 April 11	Orientation Unit 1: Sales Can Be like Acting (Pages 12-17)		
#2 April 18	Unit 1: Sales Can Be like Acting (Pages 12-17)		
#3 April 25	Unit 2: Travel Opens Up the World (Pages 18-23)		
#4 May 2	Unit 3: Love Sells Cars (Pages 24-29)		
#5 May 9	Unit 4: Translating Is More than Words (Pages 30-35)		

#6 May 16	3step小テスト1回目 Unit 5: Serve Up the Best Possible Service (Pages 36-41)
#7 May 23	Unit 6: Toast Your Success! (Pages 42-47) * May 27 (Fri.) PowerWords1回目締切
#8 May 30	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best (Pages 48-53)
#9 June 6	Unit 8: Build a Happy Life! (Pages 54-59)
#10 June 13	Unit 9: Life Is like Riding a Bicycle (Pages 60-65)
#11 June 20	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change (Pages 66-71)
#12 June 27	3step小テスト2回目 Unit 11: Connect Workers with Companies (Pages 72-77)
#13 July 4	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention (Pages 78-83)
#14 July 11	Unit 13: What's the Recipe for Success? (Pages 84-89) * July 15 (Fri.) PowerWords2回目締切、3step学習時間締切
#15 July 25	Unit 14: Help Animals for a Better Society (Pages 90-95)
#16 Aug 1	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005033	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2F1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujuchi@nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (内線335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Goal	英語のテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業方法(学習指導法) / Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進捗が明確に分かっているため、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。</p> <p>定期試験 16回目開講時</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 10(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p> <p>課外学習のe-learning 40%(3 Step CALL 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements	教科書を購入手、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修助げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TELL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10/6 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	10/13 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ		
第3回	10/20 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ		
第4回	10/27 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ		

第5回	11/10 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ 3-Step CALL 小テスト 1回目
第6回	11/17 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ
第7回	11/24 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ
第8回	12/1 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	12/8 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	12/15 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	12/22 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ 3-Step CALL 小テスト 2回目
第12回	1/5 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
第13回	1/12 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	1/19 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	1/26 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	2/9 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005034	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2F2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語をCDで聴きながら内容を理解しリスニング力を付ける。正確な発音と英文のリズムを体得する。またテキストの内容に関連した身近で社会的な問題に対して英語で答えたり話し合うことで、英語の表現力を強化する。		
授業到達目標 / Goal	CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようにする。日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	最初にスクリプト中の重要単語の意味、発音のチェックを行う。日本語で内容を把握した後、CDを聴きながらディクテーションを行いスクリプトを完成させる。内容や発音についての問いに答える。大事な構文や表現の優れた文章は暗唱する。最後に内容に関連した様々なテーマについて英語で答えたり、話し合ったりする。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回リスニングを中心に進める。スクリプトを完成させ内容を把握する。		
キーワード / Key word	リスニング、ディクテーション、語彙		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Story Box Gifts from Great Tellers (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10%、 定期試験 50%、 課外学習のe-learning 40% (3 Step CALL System 30%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	内容それ自体がおもしろく魅力ある物語をテキストとして取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (授業の進め方について) Unit 1: Happy Prince Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第2回	Unit 2: Happy Prince Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第3回	Unit 3: Black Beauty Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第4回	Unit 4: Black Beauty Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第5回	3Step小テスト(1) Unit 5: Twelfth Night Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		

第6回	Unit 6: Twelfth Night Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第7回	Unit 7: Twelfth Night Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第8回	unit 8: The Three Musketeers Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第9回	unit 9: The Three Musketeers Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第10回	unit 10: The Three Musketeers Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第11回	3Step(2)小テスト Unit 11: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第12回	Unit 12: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第13回	Unit 13: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第14回	Unit 14: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 4 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第15回	授業の総括と問題演習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005035	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F3) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	水産(2F3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel	095-813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 1、2時限目の間の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	CEFR B1レベルの英語運用能力(特に発信技能)の習熟をはかる。		
授業到達目標/Goal	CEFR B1レベルの英語運用能力(特に英語による発信能力)の習熟をはかる。		
授業方法(学習指導法)/Method	教材音声スクリプト、教材音声(MP3)を用いた音読(Shadowing含む)/教材音声を用いたリスニング・スピーキング演習/教材Workbookを用いたB1レベルの語彙・文法演習。		
授業内容/Class outline/Con	教材テキストの音声(MP3)、配布プリント(教材音声スクリプト)、Top Notch ActiveBookを活用したクラス活動をおこなう。自律学習に基づく英語発信能力の成果を、授業中に確認する。		
キーワード/Key word	CEFR B1, MP3		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Saslow, J. & Ascher, A. (2011). Top Notch 3A with ActiveBook, 2nd ed. NY: Pearson Education.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間・期末試験50%; Top Notch ActiveBook 10%; 3Step CALL Systems30%; Power Words10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	必ず第1回目のオリエンテーションに参加すること。自律学習教材(3Step CALL System; PowerWords, ActiveBook)を継続的に学習すること。ActiveBookの学習Logを提出すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保のため修助となり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)また「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	www.pearsonlongman.com/topnotch2e		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典(詳細、初回)が利用可能。		
授業計画詳細/Course Schedule	授業内容/Contents		
回(日時)/Time(date and time)			
Oct 6	Orientation		
Oct 13	Make small talk		
Oct 20	Make small talk (Workbook)		
Oct 27	演習 ActiveBook 1		
Nov 10	3Step CALL System 小テスト		
Nov 17	Health matters		
Nov 24	中間レビュー(中間試験)、Health matters (Workbook)		
Dec 1	演習 ActiveBook 2		
Dec 8	Getting things done		
Dec 15	Getting things done (Workbook)		

Dec 22	3Step CALL System 小テスト
Jan 5	Reading for pleasure
Jan 12	Reading for pleasure (Workbook)
Jan 19	Natural disasters
Jan 26	Natural disasters (Workbook)
Feb 2	Final Test

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005036	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G(英1)) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会学部(2G)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	2年次前期まで学習してきた英語4技能に関する力や技法を発展させる形で、英語での発信に重点をおいた学習を行う。様々な場面で円滑にコミュニケーション活動が行えるように、実用的な表現を適切な形式と構成で用いる訓練を行う。特に、毎回のテーマに沿って、自分自身の意見や主張を英語で論理的にまとめ、発信する訓練を行うことで、3年次以降に求められる論文やレポートの発表へ向けた準備的学習を行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声規則と文章構成を理解し、適切にリスニングとスピーキングができるようになる。</li> <li>・コミュニケーション活動に有用な表現を着実に身につけ、適切に用いることができるようになる。</li> <li>・自分自身の意見や主張を論理的にまとめて、他者に向けて正確に発信できるようになる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストを実施する。</li> <li>・指定のテキスト及び配布するプリントを用いて、特にリスニングやスピーキングを中心に学習を行う。</li> <li>・授業の最後では、ペア・グループで発表を行う。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 21st Century Reading, Creative Thinking and Reading with TED Talks 著者: Laurie Blass & Jessica Williams 出版社: Cengage Learning ISBN: 9781305265721 価格: 2,550円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning: 40% 小テスト・課題: 25% 中間・期末テスト: 25% 発表: 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	10月6日 オリエンテーション & 準備学習		
2回	10月13日 Unit 1: Why Explore?		

3回	10月20日 Unit 2: Success and Failure
4回	10月27日 Unit 3: Power Shifts
5回	11月10日 3-STEP 小テスト (1) & プリント教材
6回	11月17日 Unit 4: Creative Sparks
7回	11月24日 Unit 5: Hope and Equality
8回	12月1日 中間テスト & 課題
9回	12月8日 Unit 6: Backing Up History
10回	12月15日 Unit 7: Food For All
11回	12月22日 3-STEP 小テスト (2) & プリント教材
12回	1月5日 Unit 8: Future Jobs
13回	1月12日 Unit 9: How We Learn
14回	1月19日 Unit 10: Backing Up History
15回	1月26日 復習 & 課題
16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005037	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2P1) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	英米の歌にみられる英語表現を中心として、重要な英文について、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言うように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌とその背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。		
キーワード/Key word	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 7日	導入・授業内容の説明
第2回 4月14日	UNIT 4 Puff ( The Magic Dragon )
第3回 4月21日	UNIT 5 Unchained Melody
第4回 4月28日	UNIT 6 Over the Rainbow
第5回 5月12日	UNIT 10 Dreaming of Home and Mother
第6回 5月19日	UNIT 8 Tennessee Waltz 第1回 3Step 小テスト
第7回 5月26日	UNIT 11 Long, Long Ago
第8回 6月 2日	UNIT 12 Grandfather's Clock
第9回 6月 9日	UNIT 13 The Last Rose of Summer
第10回 6月16日	UNIT 15・16 Mollie Darling / I've Been Working on the Railroad
第11回 6月23日	UNIT 17・18 Foster's Songs ( Old Black Joe / Old Folks at Home )
第12回 6月30日	UNIT 14 Home on the Range 第2回 3Step 小テスト
第13回 7月 7日	UNIT 18・19 ( ・20 ) Foster's Songs ( Old Folks at Home / My Old Kentucky Home / Beautiful Dreamer ) ( UNIT 3 Amazing Grace )
第14回 7月14日	UNIT 25・26 Twin Songs ( Londonderry Air / Danny Boy )
第15回 7月21日	UNIT 26 ( ・27 ) Danny Boy ( / Aloha Oe )
第16回 7月28日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005038	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2P2) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは現代人および現代社会が抱える心的問題について多面的論点から理解を深め、自分の意見を伝えるライティング力の養成とリスニング力の養成を行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは大意をとる練習をします。関連情報を参考に、視野をひろげ、自身の考えを伝えられるようライティングの訓練をします。		
授業内容 / Class outline / Con	最初に、Lessonで重要となる単語の確認を行います。次に、リーディングで登場した単語の応用問題および内容確認問題に触れ、理解度の確認をします。さらに、Lesson内容に関連する会話表現を聞き、リスニング力の強化を図ります。		
キーワード / Key word	Psychology		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	PRACTICAL PSYCHOLOGY 南雲堂 1,800円 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英字新聞に目を通したり、テレビの音声を英語音声、英語字幕に切り替えると英語の力がさらにつくと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Lesson 1 Never Fail: Achieving Your Goals		
第3回	Lesson 2 FYI: Cyberpsychology		
第4回	Lesson 3 Kick It! Addictions Old and New		
第5回	Lesson 4 Mind over Matter: Boosting Brain Power		
第6回	3 step 小テスト Lesson 5 The Artist in You: Fostering Creativity		
第7回	Chapter 6 Don't Worry! Handling Stress and Anxiety		
第8回	Chapter 7 Best Behavior: A Better, Nicer You		
第9回	Chapter 8 About Face: Appearance and Personality		
第10回	Chapter 9 Mars or Venus? Gender and Mental Health		
第11回	Chapter 10 Good Job! Practical Psychology at Work		

第12回	3 step 小テスト Chapter 11 True or False? Spotting Liars
第13回	Chapter 12 What a Jerk! Dealing with Difficult People
第14回	Chapter 13 So Sad: Depression in Japan
第15回	Chapter 14 Color Blind: Overcoming Prejudice
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005039	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E7) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	rob-fritz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部の本館 5 0 3		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	Email me to make an appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	English in music and film will be used to improve student's critical thinking, discussion skills and creativity related to music and film. By the end of the course, students will be able to understand how to analyze the meaning of lyrics, P.Vs and film.		
授業到達目標 / Goal	<p>Student goals are</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Get a wider range of knowledge about different kinds of music and film</li> <li>- Improve independent thinking</li> <li>- Gain analytical skills</li> <li>- Become more curious</li> <li>- Understand the important of music and film knowledge for communication</li> </ul>		
授業方法 (学習指導法) / Method	Students will work in groups and pairs in every class. Students are expected to be active in every class = asking and answering questions with other members and the teacher.		
授業内容 / Class outline / Con	The syllabus will be given to students in the first class.		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	No textbook. The teacher will give handouts in every class.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Evaluation will be explained in the first class.		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
9/29 1st period	Class 1. Introductions. The course will be introduced and students will introduced themselves to each other.		
10/06 1st period	Class 2. Poems. A poem will be used and students will discuss it. The purpose is to use the poem so that students can understand the main themes of the course (thinking and analyzing many different meanings and being creative).		
10/13 1st period	Class 3. Metaphors and similes. Students will be introduced to metaphors and similes, then gradually become aware and understand how they are used in song lyrics and everyday English communication.		
10/20 1st periods	Class 4. Metaphors and similes (part 2). Students will be introduced to metaphors and similes, then gradually become aware and understand how they are used in song lyrics and everyday English communication.		

10/27 1st period	Class 5. Music genres (part 1). Different kinds of contemporary music genres will be introduced. Students will do various activities to raise their awareness of new kinds of English music
11/10 1st period	Class 6. Music genres (part 2). Different kinds of contemporary music genres will be introduced. Students will do various activities to raise their awareness of new kinds of English music
11/24 1st period	Class 7. TV Drama (part 1). One episode from a modern day drama (English language) will be shown. Students will discuss the themes of the drama.
12/01 1st period	Class 8. TV Drama (part 2). One episode from a modern day drama (English language) will be shown. Students will discuss the themes of the drama.
12/08 2st period	Class 9. Class project. Students will be introduced to the class project they have to submit before 01/26.
12/15 1st period	Class 10. Images in Promotional Videos (PVs). Recent music PVs will be used for students to analyze and understand the various meanings and how these meanings complement lyrics.
12/22 1st period	Class 11 Images in Promotional Videos (PVs) (part 2). Recent music PVs will be used for students to analyze and understand the various meanings and how these meanings complement lyrics.
01/05 1st period	Class 12. Lyrics in songs. Students will recommend their own favourite English music lyrics for the class to discuss.
01/12	Class 13. Lyrics in songs. Students will recommend their own favourite English music lyrics for the class to discuss.
01/19	Class 14. Film (part 1). A movie or documentary will be shown. The purpose will be to analyze the themes and meaning.
01/26	Class 15. Film (part 1). A movie or documentary will be shown. The purpose will be to analyze the themes and meaning.
02/02	Class 16. Review. Students will review the course, think and discuss what they have developed.

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005040	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E8) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	desi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	Katafuchi - Hon Kan 607		
担当教員TEL/Tel	095-820-6395		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday 16:15-17:00 & Friday 13:15-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	This class is the final in a series of courses designed to develop the English communication skills necessary for study at a university started in Communication I and continued in Communication II. These skills include, but are not limited to, forming an opinion, giving reasons, taking turns and leading a discussion. In addition, other English skills such as listening, speaking, reading, writing, presentation and intercultural communication in an academic and non-academic setting will be taught and practiced. In order to successfully complete this course, students must work hard to build up their language and study skills to a point they can understand classes taught in English and communicate with people of another culture. Students who take this course are expected to attend all classes, complete many in-class and outside-class assignments and interact with the teacher and other students.		
授業到達目標/Goal	Students will improve their English conversation skill.		
授業方法(学習指導法)/Method	Discussions, class assignments and textbook work.		
授業内容/Class outline/Con	Course Schedule		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Sullivan, K & Beuckens, T. (2009), Impact Conversation 2, Pearson Longman.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Participation 15% Quizzes 10% Reading 10% Power Words 10% 3-Step CALL System 30% Presentation 15% Final Exam 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	Students are expected to attend all classes and will be excused for legitimate medical or personal reasons as determined by the instructor. However, participation points will be lost for absences of any reason. Students who have 5 unexcused absences will be asked to withdraw from the course. You must send the teacher an email whenever you miss class, so he can inform you of what you missed. If you do not tell the teacher about a legitimate reason for missing class, it will be counted as unexcused.		
アクセシビリティ/Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Let's enjoy English conversation.		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1回	Introductions – Class Overview
2回	Topic 1
3回	Topic 1
4回	Topic 2
5回	Topic 2
6回	Topic 3
7回	Topic 3
8回	Topic 4
9回	Topic 4
10回	Topic 5
11回	Topic 5
12回	Topic 6
13回	Topic 6
14回	Topic 7
15回	Topic 7
16回	Final Exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005040	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E8) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	desi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	Katafuchi - Hon Kan 607		
担当教員TEL/Tel	095-820-6395		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday 16:15-17:00 & Friday 13:15-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	This class is the final in a series of courses designed to develop the English communication skills necessary for study at a university started in Communication I and continued in Communication II. These skills include, but are not limited to, forming an opinion, giving reasons, taking turns and leading a discussion. In addition, other English skills such as listening, speaking, reading, writing, presentation and intercultural communication in an academic and non-academic setting will be taught and practiced. In order to successfully complete this course, students must work hard to build up their language and study skills to a point they can understand classes taught in English and communicate with people of another culture. Students who take this course are expected to attend all classes, complete many in-class and outside-class assignments and interact with the teacher and other students.		
授業到達目標/Goal	Students will improve their English conversation skills.		
授業方法(学習指導法)/Method	Discussions, class assignments and textbook work.		
授業内容/Class outline/Con	Course Schedule		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Sullivan, K & Beuckens, T. (2009), Impact Conversation 2, Pearson Longman.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Participation 15% Quizzes 10% Reading 10% Power Words 10% 3-Step CALL System 30% Presentation 15% Final Exam 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	Students are expected to attend all classes and will be excused for legitimate medical or personal reasons as determined by the instructor. However, participation points will be lost for absences of any reason. Students who have 5 unexcused absences will be asked to withdraw from the course. You must send the teacher an email whenever you miss class, so he can inform you of what you missed. If you do not tell the teacher about a legitimate reason for missing class, it will be counted as unexcused.		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Let's enjoy English conversation		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Introductions - Class Overview		
2回	Topic 1		
3回	Topic 1		
4回	Topic 2		
5回	Topic 2		
6回	Topic 3		

7回	Topic 3
8回	Topic 4
9回	Topic 4
10回	Topic 5
11回	Topic 5
12回	Topic 6
13回	Topic 6
14回	Topic 7
15回	Topic 7
16回	Final Exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005041	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E9) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	special class for 2nd year students		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fuyumiko2@live.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	531		
担当教員TEL / Tel	(095)820-6394		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Anytime, but please email me before coming to the office		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	To deeply understand students' own culture and foreign cultures by research, explanation, and discussions with foreign students and Japanese students on FB or Forum site; To improve skills in team work and communication in English; To get students better prepared for visiting or studying abroad.		
授業到達目標 / Goal	To get students better prepared for study abroad		
授業方法 (学習指導法) / Method	Dictogloss activities, Lecture, Research, Discussion in classroom and on the Face Book & the forum site.		
授業内容 / Class outline / Con	Students will upgrade their communication skills in English, their Intercultural Communicative Competence and understanding of cultural diversities, and integrate knowledge with skills acquired through Dictogloss activities on Japanese culture, and communication with Taiwanese and Japanese students.		
キーワード / Key word	Research, presentations, discussion, communication skills in English, Intercultural Communicative Competence, and understanding of cultural diversities		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Materials will be provided by the instructor		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1. Attendance and Participation (15%) 2. Discussion (15%) 3. Journals (10%) 4. Presentation + Speech (10%) 5. Essay (10%) 6. Mimi tests of 'People at Work' on 3-Step CALL System (30%) 7. Achievements in Power Words: Level 6 (5% x 2)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	No credit with more than 5 times absence		
アクセシビリティ / Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Need to be familiar with Face Book activities and do all assignments as required. Positive participation in the activities will contribute students' final grades.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation, make the Face Book ID		
第2回	Marriage		
第3回	Weddings		
第4回	Visiting a Shrine		

第5回	Visiting a Temple
第6回	The Family Register and Resident Card systems
第7回	Giving Lucky Names to Babies
第8回	The Japanese School System
第9回	Welfare
第10回	Summer and Winter Gift-giving
第11回	Summer and New Year Greeting Cards
第12回	Funerals
第13回	Graves, Home Altars, and Death Anniversaries
第14回	Communication with 1st year students about visiting or study abroad on the forum site
第15回	Communication with 1st year students about visiting or study abroad on the forum site
第16回	Essay writing as the term examination

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590005044	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G(英2)) / English Communication III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく本格的訓練の場とする。		
授業到達目標/Goal	学生が中長期の留学をすることを念頭に置き、TOEFL iBT/IEALTS形式の問題演習を行うと同時に、アカデミック・プレゼンテーションの訓練を行う。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、前半をTOEFL iBT/IEALTSのテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、学生の専門分野に応じたプレゼンを最終的にを行うことを前提に、着想の段階から一定程度のまとまった内容ができあがるまでのプロセスを指導する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	academic presentation, summary writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3Step CALL Systemの小テスト2回及び学習時間(30%)及びPowerWords(10%), 授業時の課題(20%), プレゼンテーション(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Fill-in-the-blanks summary (1)		
第3回	Fill-in-the-blanks summary (2)		
第4回	Fill-in-the-blanks summary (3)		
第5回	Fill-in-the-blanks summary (4)		
第6回	Fill-in-the-blanks summary (5)		
第7回	Email writing (1)		
第8回	Email writing (2)		
第9回	Email writing (3)		
第10回	Email writing (4)		
第11回	Note-taking Skills (1)		
第12回	Note-taking Skills (2)		

第13回	Note-taking Skills (3)
第14回	Note-taking Skills (4)
第15回	Review